

2023年8月14日

各位

会社名 株式会社エクサウィザーズ  
 代表者名 代表取締役社長 春田 真  
 (コード番号：4259 東証グロース)  
 問合せ先 コーポレート統括部長 前川 智明  
 (Tel: 03-6453-0510)

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は最近の業績の動向等を踏まえ、2023年5月11日の2023年3月期通期決算発表時に開示した2024年3月期（2023年4月1日～2024年3月31日）の連結業績予想を下記の通り修正することとしましたので、お知らせします。

#### 記

#### 1. 当期の連結業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	EBITDA
	百万円	百万円	百万円
前回発表予想 (A) (2023年5月11日時点)	7,000	△370	—
今回修正予想 (B) (2023年8月14日時点)	8,500	△290	600
増減額 (B - A)	1,500	80	—
増減率 (%)	21.4%	—	—
(参考) 前期実績 (2023年3月期)	5,591	△378	72

#### 2. 修正の理由

##### (1) 売上高

新たな業績予想について、主には以下のような変動の内訳になります

- 第1四半期売上高の実績は、期初想定通りに推移
- 2023年6月30日に開示した株式会社スタジアム（以下「スタジアム」）の子会社化に伴い、同社のPL（第2四半期以降）取り込み分を反映
  - 当年度におけるスタジアムの業績計画は、当社の下期よりも上期に偏重している

- 生成 AI 等のプロダクトの売上について、業績貢献分を業績予想に反映
- この他、期中での売上高への一定のリスクを織り込み

## (2) 営業利益

新たな業績予想について、主には以下のような変動の内訳になります

- 第 1 四半期営業利益の実績は期初想定通りに推移、事業運営におけるリソースの再配分の結果としてより効率的に運営できる見通しであることを反映（期初予想から 200 百万円の改善）
- 同時に、さらなる新規プロダクトの開発・販売の加速にあたり、投資分を増額（期初予想△300 百万円から△420 百万円に増額）
- スタジアム社の営業利益（第 2 四半期以降）取り込み分及び当該子会社化に伴い計上するのれんの償却費を反映し、本件買収影響は収支イーブン

## (3) EBITDA

- 今後も積極的に M&A を推進すること、及びソフトウェア等の減価償却費の規模が大きくなっていくことから、EBITDA の算出と開示を開始
- EBITDA = 経常利益 + 支払利息 + のれん償却費 + 減価償却費（ソフトウェア等）と定義
- 当期の減価償却費は 244 百万円程度と想定、スタジアムののれんは 2,284 百万円、償却期間現時点で未定だが 7～10 年と想定し、業績予想は 7 年を前提に計算

以上